

名古屋北部民商ニュース

名古屋北部民主商工会

〒462-0035 北区大野町3-19

TEL (052)915-8111

FAX (052)915-8114

E-mail jimukyoku@hokubuminsho.stl.jp

消費税5%減税・インボイス廃止へ！参院選 投票に行こう！

婦人部総会で学習&交流

7月6日(日)午前10時30分から、名古屋北部民商婦人部第14回定期総会を開き、13人(うち部員12人)が参加しました。前田香代子婦人部長の挨拶に続き、先日の民商総会で会長に選出された宮内淳子さんが挨拶。「みなさんに支えていただかないとできませんので、よろしくお願いします」と話すと、「女性の会長さん、嬉しいね」と温かい拍手に包まれました。進行は、坪井みよ子さんが行い、愛婦協のメッセージ紹介は、嶋恭佳さんが読み上げて紹介。松原事務局長が、方針、決算予算、役員を提案し、拍手で確認。議事終了後、第二部では、地元で活動している



川合富雄さん(日本共産党学習・教育部、元小学校教諭)を講師に、「令和のコメ騒動」ーなぜコメ不足、高騰、をテーマに学習会を行いました。川合さんは、「この問題の根底には、歴代の自民党政府が進めてきた減反政策とアメリカ追随のミニマムアクセス米の輸入の問題がある」と切り出し、農家の疲弊、高齢化による離農が進み、生産量が減少、さらに政府が需要予測ギリギリの生産量に誘導しつつ、流通を市場まかせにしてきたために、わずかな需要増で米価が高騰するようになったことなど、グラフなど示しながら説明していただきました。「農協に問題があるのか」との質問が出され、「皆さんも、消費者生協とか医療生協とか入っている方もいると思うが、農協も協同組合。融資など農家を援助する役目がある。農協や卸業者に責任があるかのような言い方は違う」と話しました。「農家の支援で直接契約し、昔から5キロ2800円で変わっていない」という人も。その後、日本共産党の岡田ゆき子市議が駆け付け「消費税の問題が参院選で争点になっているのは、民商の皆さんが粘り強く訴え続けてきたから。32の小選挙区のうち、17で野党共闘が実現し、インボイス廃止できる展望が開かれています」「政治を変えるため、一緒に頑張りましょう」と激励していただきました。なお、前田香代子婦人部長はじめ、新メンバーも含めて8人の役員を選出しました。

インドとスリランカ、外国人同士で助け合って

2年前に入会した平安支部のバドラ・ムディヤンセラゲ・デリイーパさん(スリランカ出身。飲食・カレー)は、「相談していた税理士さんが怒られて、怖くて・・・」と無申告に。知人から、民商を紹介され、事務局とのカタコト英語と翻訳された英文でコミュニケーションを取り、自ら帳面に書き込んで、なんとか前年分の申告を提出出来ました。その後、帰国したため、今年分の申告も遅れましたが、今期の申告は、インド出身の先輩会員のアハマッド・ハニフさん(飲食と食材販売)に通訳を依頼。

ハニフさん自ら、毎年やっているように自主計算用紙に、「売上はSale、仕入れはPurchase・・・」とすらすらと説明してくれ、理解もドンドン進みました。社会保険の悩みなども一挙に解決の方向に話が進みました。



名古屋市 定額減税補足給付金(不足額給付)の「支給のお知らせ」・「申請書」発送始まる

支給対象の方には、「名古屋市からの給付金のお知らせ」という緑色の封筒で「支給のお知らせ」または「申請書」が送られてきます。「支給のお知らせ」は、7月3日発送開始、原則手続き不要で、払い込み予定日が8月4日、「申請書」は7月17日発送で申請書を返送することが必要です。返送後、1か月から2か月で払い込みされる予定です。